

平成14年度

国際協力イベント「国際協力はじめの一步  
～伊達公子さんと語ろう」

事業報告書

JICA LIBRARY



1209167 [4]

平成15年3月

国際協力事業団

中部国際センター

中部セ
JR
02-06



1209167 [4]

## 序文

この報告書は、2003年3月9日に、名古屋栄ガスビル5Fガスホールにて実施された国際協力イベント「国際協力ははじめの一步～伊達公子さんと語ろう」の概要についてまとめたものです。

本イベントは、「JICA オフィシャルサポーター」として活動中の伊達公子さんや各界の有識者によるパネルディスカッションを通じ、伊達さんの開発途上国における「キッズテニス」(テニス教室)の活動を紹介するとともに、JICA、ボランティア、NGO など、さまざまな国際協力の方法を事例として紹介し、「私にできること」を発見する機会を提供することを目的として実施しました。

グローバル化および地域社会の国際化や市民レベルの国際交流の進展に伴い、国際協力に関心を持ち、活動に参加する市民や市民団体等の数が増えています。そうした中で、「国際協力に関心があるが、海外との交流経験がない、どうしてもよいか分からない」といった方々への情報提供がますます求められており、JICA はこうした広報イベントの開催を通じ、市民参加の機会づくりを支援しています。この報告書が、そうした市民参加推進活動に取り組んでいる方々のご参考になれば幸いです。

最後に、本プログラムの実施に際し、多大なご協力をいただいた関係者の方々にお礼を申し上げますと同時に、今後とも JICA の市民参加推進活動に一層のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

2003年3月

国際協力事業団  
中部国際センター  
所長 荻原 久義



## 《会場風景》



会場全体の様子



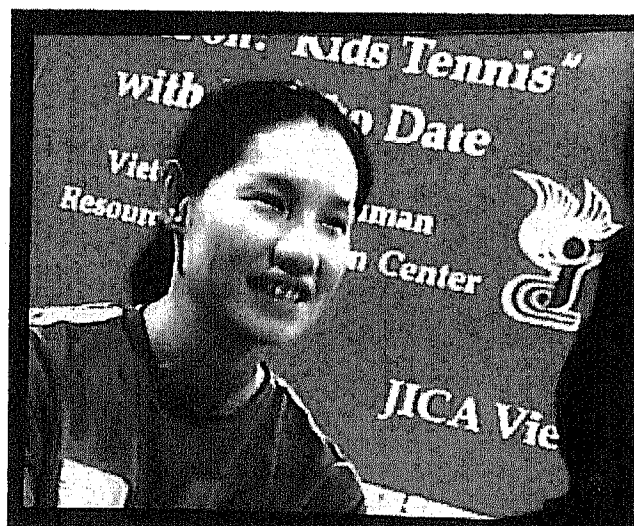
開会のあいさつ

JICA中部国際センター

荻原所長

## 《ビデオ上映》

キッズテニス in ベトナム



# 《パネルディスカッション》



【パネリスト】  
プロテニスプレイヤー  
伊達 公子氏



【パネリスト】  
鈴鹿国際大学 教授  
アーナンダ・  
クマール氏



【パネリスト】  
安城市歴史博物館 学芸員  
斎藤 弘之氏



【パネリスト】  
JICA 中部国際センター  
所長 荻原 久義氏



【コーディネーター】

NHK

エグゼクティブアナウンサー

町永 俊雄氏



質疑応答





## 目 次

序文

写真集

1. イベント概要	1
1) 主催及び後援	1
2) 内容及び目的	1
3) 対象者	1
4) 出演者	1
5) スケジュール	2
6) 会場	2
7) 参加者人数及び参加受付方法	2
8) 広報	2
9) 参加者数	2
2. 出演者の略歴	3
3. パネルディスカッション概要	5
4. 参加者アンケートの集計結果	33
[添付資料]	
1 ちらし	43
2 新聞広告・新聞イベント告知欄掲載記事	45
3 当日配布資料・アンケート用紙	50



## 1. イベント概要

### 1) 主催及び後援：

主催 国際協力事業団（JICA）中部国際センター

後援 （財）愛知県国際交流協会、（財）名古屋国際センター、（特）名古屋 NGO センター

### 2) 内容及び目的：

「JICA オフィシャルサポーター」として活動中の伊達公子さんや各界の有識者によるパネルディスカッションを行う。伊達さんの開発途上国における「キッズテニス」（テニス教室）の活動を紹介するとともに、JICA、ボランティア、NGO など、さまざまな国際協力の方法を事例として紹介し、「私にできること」を発見する機会を提供する。

### 3) 対象者：

対外的には、「国際協力に関心のある方々」全般を対象とする。内部的には、「国際協力に取り組もうと思っているが、まだ実現出来ていない一般市民、中・高・大学生」を主な対象と位置づける。

### 4) 出演者：

#### パネリスト

伊達公子氏（JICA オフィシャルサポーター）

アーナンダ・クマラ氏（鈴鹿国際大学国際関係学科教授、名古屋NGOセンター理事）

斎藤弘之氏（安城市歴史博物館学芸員、愛知県青年海外協力隊OB会会長）

荻原久義（JICA 中部国際センター所長）

#### コーディネーター

町永俊雄NHK名古屋放送局エグゼクティブアナウンサー

5) スケジュール:

- 13:30～13:35 場内アナウンス、主催者挨拶  
13:35～14:05 地球家族（テニスは国境を越えて）上映  
14:05～15:10 場内アナウンス、パネルディスカッション  
15:10～15:30 参加者からの質疑応答  
15:30 閉会アナウンス

6) 会場:

栄ガスビル 名古屋市中区栄3-15-33、TEL052-732-3211  
5階ガスホール（250名収容）

7) 参加者人数及び参加受付方法:

250名まで（入場無料、2月28日まで FAX、電子メール、郵送にて先着順に応募受付、定員になり次第、受付終了）

8) 広報:

- ・チラシ配布：約1500枚カラーコピーで作成。各県・市、教育委員会、国際交流団体、NGO、マスコミ、学校等、約1300の各種団体に郵送。
- ・新聞広告：中日新聞社会面2月27日に半2段で掲載。
- ・その他：伊勢新聞（2月21日）、中日新聞（2月22日及び23日）、中部経済新聞（2月24日）等のイベント告知欄に掲載。JICA ホームページ（CBIC）のイベント告知にも掲載。

9) 参加者数

応募受付数 255  
当日来場者数 220

## 2. 出演者の略歴

### パネリスト

#### 1) 伊達公子氏

(プロテニスプレーヤー)

1970年京都市生まれ。小学校1年生時からテニスを始め、兵庫県園田学園女子高等学校3年次時に全国高校総合体育大会でシングル、ダブルス、団体で3冠。卒業と同時にプロに。96年にはウィンブルドンでもベスト4入りした。同年ヒンギス戦を最後に引退。98年から子どもを対象にした「伊達公子とテニスであそぼ カモン!キッズテニス」を全国で開催。

#### 2) アーナンダ クマーラ氏

(鈴鹿国際大学国際関係学科教授・名古屋NGOセンター理事)

スリランカ・ケラニヤ大学講師、国際連合地域開発センター研究員を経て現職。アジアの産業開発、国際開発、技術移転の研究のため頻りに各国を訪問。三重県、愛知県、名古屋市、鈴鹿市などでの様々な開発計画委員会の委員、名古屋NGOセンター理事、三重県国際交流財団理事、名古屋FMラジオ番組審議委員、「スリランカ・フォーラム」コーディネーター、日本スリランカ外交樹立50周年記念事業・中部東海計画実行委員会委員長、「国際交流センター」・所長、「開発と文化研究センター」・チーフコーディネーター、国際NGO「タランガ・フレンドシップ・グループ」のチーフ・アドバイザーなどを兼任。

#### 3) 斎藤 弘之氏

(安城市歴史博物館学芸員、愛知県青年海外協力隊OB会長)

安城市教育委員会博物館準備室勤務より、1991年の開館当初から安城市歴史博物館学芸員。1994～96年に、青年海外協力隊に参加し、ミクロネシア連邦ホーンペイ州リトルキニ博物館に考古学隊員として派遣。帰国後復職して現在にいたる。1999年から、青年海外協力隊愛知県OB会会長を務める。隊員時代の経験をもとにした、『ミクロネシア』（共著 トラベルジャーナル社刊）がある。

#### 4) 萩原 久義

(JICA 中部国際センター所長)

1974 年国際協力事業団 (JICA) 入団。1979 年外務省 (在ケニア日本国大使館) に出向。1990 年 JICA 東京国際研修センター研修課長、1993 年総務部情報管理課長、1995 年英国事務所長、1998 年 (財) 日本国際協力システム出向、2001 年 11 月より現職。

#### コーディネーター

#### 5) 町永 俊雄氏

(NHK 名古屋放送局エグゼクティブ・アナウンサー)

1971 年 NHK 入社。名古屋放送局で朝の情報番組「ウィークエンド中部」の担当。これまで「おはようジャーナル」、「NHK 特集」、「NHK スペシャル」、「くらしのジャーナル」「教育トウデイ」「ETV2001」「金曜アクセスライン」等の番組において、経済、医療、教育、家庭、健康、福祉といった幅広いテーマを扱う。また、NHK 文化センターで「話し方教室」の講師も勤める。著書に「ドキュメント・リゾート」 毎日新聞連載「私の読書日記」、対談集「レモンをひとしぼり」(小林カツ代) など。